

自主臨床研究

血液腫瘍・免疫グループ

限局性ユーイング肉腫ファミリー腫瘍に対するG-CSF併用治療期間短縮VDC-IE療法を用いた集学的治療の第Ⅱ相臨床試験

研究の対象

2016年2月1日（研究開始日）以降に診断された、以下の適格基準を満たすESFTを対象とする。

- ① 病理学的にESFTと診断された症例
- ② 限局性腫瘍（遠隔転移を有さない）
- ③ 病理学的診断確定後3週間以内
- ④ 登録に先立って化学療法や放射線治療を受けていない
- ⑤ 年齢50歳未満
- ⑥ 患者または代諾者により、試験参加についての文書による同意が得られている
- ⑦ 小児固形腫瘍共同データベース一次登録が終了
- ⑧ 化学療法の評価が可能な病変が残っている（一期的に完全摘出されていない）

研究目的・方法

新規に診断された限局性初発ユーイング肉腫ファミリー腫瘍（ESFT）を対象に局所療法を詳細に規定したうえで限局性ESFTの標準治療であるVDC-IE療法を顆粒球コロニー刺激因子（G-CSF）サポート下に2週間間隔で行う治療（Bi-weekly VDC-IE療法）の安全性と有効性を第Ⅱ相臨床試験として検証する。

プライバシーの保護

登録患者の氏名は参加施設からデータセンター等に知らされることはない。

お問い合わせ先

大阪大学病院小児科
宮村能子